（様式１）

校　種	㊦　・　中	学校番号	２６	学校名	宇都宮市立清原南小学校

令和８年度　学校経営計画

１　教育目標

（１）基本目標

人間尊重を基盤に，知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し，日本の伝統や文化を大切にし，平和な国家の形成者として，２１世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子供を育成する。

（２）具体目標（具体的な児童生徒像）

「たくましく，思いやりがあり，よく学ぶ子の育成」

２　学校経営の理念

恵まれた自然環境と，１５０年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち，子供への愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々とともに歩み，自らの資質・能力を高めるとともに自己変革に努め，教育目標達成のために全力を尽くす。

また，先人に感謝しつつ，母校への誇りと自己の尊厳を高めるような教育活動を展開し，持続可能な社会の創り手となる子供たちが「未来を生き抜く人間力」を身に付けるため，知・徳・体のバランスのとれた力の育成に取り組む。そのために，児童・教職員・保護者・地域が連携し，多様な活動を通して地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

３　学校経営の方針

（１）地域に開かれた地域とともにある学校づくりの推進

【　令和８年度　清原地域学校園教育ビジョン　】
自己を見つめ，自己のよさを生かした『夢』の実現に向けて，主体的に取り組む児童生徒の育成
～　人や地域との豊かなかかわりを通して　～

（２）成長し続ける基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力の育成

（３）新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成

（４）児童の様々な状況に対応した指導・支援の充実

（５）学び続ける教職員としての資質・能力とチーム力の向上

（６）業務量管理・健康確保措置の実施

【目標】教職員が健康で生き生きとやりがいを持って勤務し，質の高い教育を行うため下記の目標を掲げ，働き方改革を推進する。
1　教員の時間外在校等時間を１か月で４５時間以内，１年間で３６０時間以内とする。（令和１４年度末）
2　児童生徒と向き合う時間を確保できている教員の割合９０％を目指す。（令和１４年度末）
3　時間外在校等時間が１か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す。（令和９年度末）

４　教育課程編成の方針

（１）　教育関係法規，学習指導要領及び県・市の教育行政の方針等を踏まえ，公教育の立場を

堅持し本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。

（２）　教育目標の具現化を図るため，各教科等の教育内容を相互の関係で捉え教科等横断的な視点で組織的に配列して，教育課程の充実に努める。

（３）「学校マネジメントシステム」の結果を受け，学校教育目標・学校経営の方針を踏まえて，実態に応じた指導が計画的に行われるように，PDCA サイクルの確立を図る。

（４）地域協議会（モデル事業：学校運営協議会）との連携により，地域の特性や願いを基に児童に必要な資質・能力を明確にし，地域の人的・物的資源を有効活用して，「社会に開かれた学校づくり」を推進する。

５　今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇）

（１）学校運営

・児童と職員が共に楽しく居がいのある，魅力あふれる学校づくりを目指す。

・個人及び学校全体のスキルアップを図る中で，学校運営への積極的な参画を目指す。

〇家庭や地域との連携・協力を深め，活気あふれる学校づくりに努める。

（２）学習指導

〇図書や資料，１人１台端末等を効果的に活用し，「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図る。

・「宇都宮モデル」の各場面（はっきり・じっくり・すっきり）における指導の充実を図る。特に，児童が考えをまとめ書く時間を意図的に設定し，「書くこと」の指導の充実を図る。

・特別支援教育の視点を取り入れた，個に応じた指導の充実を図る。

〇学習の基盤となる資質・能力や，現代的な諸課題（SDGｓ，人権教育，情報モラル教育等）に対応していく資質・能力を育成するため，教科等横断的な学習の充実を図る。

（３）児童生徒指導

・いじめ・不登校対策の充実を図るため，魅力にあふれ安心して過ごせる学級づくり，思いやりや規範意識の醸成，相談体制の充実，課題の早期発見・早期対応に組織的に取り組む。

・児童が目標を立てて挑戦したり教職員がその努力を認め励ます指導を行ったりすることで，児童の自信や意欲を育むとともにあきらめない心などのたくましさを涵養する。

〇 すべての教育活動を通して豊かな心と社会性の育成を図る。

（４）健康（体力・保健・食育・安全）

〇「体力向上」「保健教育」「食育」「安全教育」を一体的に捉え，デジタルを効果的に活用しながら「元気アップ教育」を着実に推進する。

・教育活動全体を通して運動機会を創出し，児童生徒の体力・技能の向上や底上げを図る。

・定期健康診断結果に基づく健康相談や保健指導等を通して，健康の保持増進を図る。

・登下校時の歩行指導や避難訓練を通して，安全を守るための判断力や実践力を育成する。

６　学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組　※　様式２～４参照

７　特色ある学校づくり等に関する取組（「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には◇）

（１）**「本とのふれあい」を通して**

・育てたい資質・能力：豊かな情操を育むとともに，確かな情報収集・処理能力を育成する。
・取組：朝の読書，◇読み聞かせ，ファミリー読書，学年文庫の充実，図書室の利用　等

（２）**「地域とのふれあい」を通して**
・育てたい資質・能力：地域の人，自然，社会への愛着心を育み，一体感を形成する。
・取組：◇田植え・稲刈り・農園活動，◇学校地域クリーン活動，水辺の楽校，高田沼公園道徳科地域教材「荒井退造」，◇宮っ子「夢」教室，◇読み聞かせ（南風）　等

（３）**「人とのふれあい」を通して**
・育てたい資質・能力：多様な価値観・人との融和感・連帯感を醸成する。
・取組：◇縦割り班活動，◇小中一貫あいさつ運動，各種出前講座，親子奉仕作業　等

８　本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「学校運営協議会」との連携・協働を含む）
①基本的考え：児童の地域活動への参加と地域人材の学校教育への参画を通して，学校・家庭・地域が相互に関わり合える関係性の構築と地域への愛着の醸成を図る。
②主な取組　：行事（清南まつり，どんどん焼き），学習ボランティア（田植え，稲刈り，農園活動），学校地域クリーン活動，登下校時の見守り活動，通学路点検　等

（２）小中一貫教育・地域学校園
①基本的考え：中学校や地域人材と連携し，人との豊かな関わりの中で将来に夢をもち，自己のよさを生かした夢の実現のために主体的に取り組む児童を育成する。
②主な取組：　地域学校園あいさつ運動，キャリア教育（キャリアパスポート，宮っ子心の教育，夢ロード，６年「宮っ子『夢』教室」），６年生の中学校訪問や中学校との情報交換会

（３）不登校対策
①基本的考え：児童のよさを認め励ます指導や居がいのある温かな学級づくり，相談体制の充実，家庭及び関係機関との連携等により不登校の予防と解消を図る。
②主な取組　：個を大切にした学級経営の充実，情報の共有と個別の支援計画の作成，ハートタイムやＱ－Ｕ調査，ＳＣの活用，必要に応じた教育支援委員会の開催，チーム支援体制の構築，１人１台端末を有効に活用した学習支援

（４）ＧＩＧＡスクール構想
①基本的考え：１人１台端末を効果的に活用して個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに，校務のデジタル化を進め，教職員の負担軽減を図る。
②主な取組　：活用事例の共有，協働学習ツールやデジタルドリルの活用推進，校内研修の推進，家庭との連携，校務 DX の推進，デジタル・シティズンシップ教育の充実

（５）宇都宮学
①基本的考え：地域人材・資源を活用した多様な体験的活動を通して，宇都宮に係る学習の充実を図り郷土理解を深めるとともに，郷土への愛着と誇りを醸成する。
②主な取組　：社会科副読本の活用，施設めぐりや出前授業の実施，地域素材の「水辺の楽校」，「高田沼公園」を活用した体験学習の実施，地域の偉人「荒井退造」や伝統工芸等に関する探究学習，地域食材や郷土料理の提供を通した食文化の学習